

# 進路だより

令和4年1月14日  
兵庫県立姫路聴覚特別支援学校  
進路指導部 発行

新しい年がはじまりました。「一年の計は元旦にあり」と言われますが、将来の進路についてもしっかりと考え、充実した一年になることを願っています。

さて進路の行事では、昨年10月に高等部1年生全員と2年生の就職希望者に対する就業体験を行い、12月に卒業生の体験談を聞く会を開催しました。今回の進路だよりは、その2つの行事のまとめを報告します。

## ①10月 就業体験のまとめ(高1・高2)

今回の就業体験は個別面談の希望をもとに実習先を開拓し、下記の県下14ヶ所の事業所や施設で受け入れていただきました。コロナの余波などもあり希望通りの実習先が見つからなかった人もいますが、それぞれの就業体験先で貴重な経験をして戻ってきました。受け入れていただいた実習先から、このままさらに高めて欲しい力、課題として今後身につけて欲しい力など具体的なアドバイスもいただきました。今回の評価を、将来社会人として働くためのアドバイスとして今後に活かして欲しいと思います。

就業体験先	住所	実習内容
(株)武蔵野 神戸工場	神戸市	食品製造
(株)日本アレフ 兵庫工場	宍粟市	ダンパー取付作業
(株)ヒメプラ	姫路市	倉庫内軽作業、検品
白鷺ニット工業(株)福崎ファクトリー	福崎町	縫製作業
(株)いけのやフーズ	姫路市	食品包装
(株)エスコアハーツ	稲美町	軽作業、ライン作業
青山荘	小野市	介護補助
淡路ふくろうの郷	洲本市	介護補助
デイサービスリゾート 杣緑	姫路市	介護補助
福伸電機(株)	福崎町	組立、溶接作業
ITワークス姫路	姫路市	PC作業
JR西日本あいウィル	尼崎市	ピッキング作業
(株)日東社	姫路市	製品梱包作業
(株)やよい	姫路市	製品梱包作業

\*今回も高等部就業体験に際しましてPTA進路開拓費から手土産を準備させていただきました。ありがとうございました。

## 生徒の感想より(抜粋)

- はじめは不安でしたが、職場のみなさんが親切に仕事を教えて下さったので安心できました。ずっと立ってやる仕事だったのではじめは足が痛くなりましたが、3日目くらいからは慣れて作業ができました。一週間大切なことを学ばせてもらい感謝しています。
- 介護は「ありがとう」と言われることが多い仕事だと感じました。色々大変なこともありましたが、「ありがとう」と言われるととても嬉しく、また頑張ろうという気持ちになりました。今回、自分の課題である、「大きな声で挨拶する」「分かったら返事をする」ということは、きちんとできたと思うので、このまま継続して行きたいです。
- 立ち仕事で、組立作業は同じことを繰り返すのできついな、と思いました。機械音はうるさくて油のおいもあつたけど、意外と平気でホッとしました。この貴重な経験をもとに、ちゃんと将来のことを考えたいなと思います。
- はじめは、仕事は厳しいものというイメージでしたが、優しくわかりやすく教えてもらったので、とても楽しいものだと思いました。
- 今回の反省点は、「冷静さ」「スピード力」「正確さ」が足りなかったことです。これらを直していけたらと考えています。また日常生活のなかで「わからないことは質問する」「挨拶をきちんとする」「メモをする」ことが自然にできるように精進していきたいと思えます。
- 説明を最後まで聞かずに作業をしようとしてしまった。コミュニケーションをしっかりとれるよう気をつけて行こうと思った。また、文章力をもっと身に付けたいと思った。



## 実習先の評価より(抜粋)

- ・初対面であいさつがや自己紹介ができなかった。

- ・敬語が使えず、なれなれし過ぎる所があった。仕事はやる気があり、頑張っていた。
- ・あいさつの声が小さかったが、任せた仕事はしっかりできていた。
- ・体力、集中力をもっと身に付けてほしい。
- ・すべての場所で手話が理解できる人がいることは難しいので、コミュニケーションツールとして筆談が使えるように、漢字や言葉をたくさん学んでおいてほしい。
- ・緊張感を持ち、真面目に作業に取り組んでいた。自分を積極的に出せるようになると、さらに良くなっていくと思う。
- ・難しいプログラム作成にも挑戦し、頑張って完成できた。活躍の場を広げるため、何か特化して誇れるものを身に付けてほしい。
- ・初めての場所で緊張もあったと思うが、分からないことは、自分から進んで聞いてほしかった。
- ・慣れるにつれて利用者の方とも会話をしながら頑張れた。段取りを考えて動けるようにしてほしい。
- ・積極的な気持ちで対応できていた。機械操作や生産技術は、適応能力が高い。生産性（時間）に対する考え方もよかった。
- ・作業が丁寧で、真面目な性格や態度が好印象。共同作業も問題なし。わからないことは自分から聞くことができていたが、手先が必要な作業は苦手なようだ。
- ・実習日誌の文章が気になります。文法を勉強するには読書がいいと思いますので、ぜひ実践してみてください。

## ②卒業生の体験談を聞く会

隔年で実施している「卒業生の体験談を聞く会」を12月14日（火）に開催しました。講師の方々からは、学生時代の思い出や社会人としてのアドバイス、会社の人事の立場からのアドバイスなど貴重なお話をいただき、生徒たちも真剣に聞き入っていました。

今回講師として来ていただいたのは、次の3名です。

- ・田中 真悟さん（平成28年度本科卒業 株式会社アイシン勤務）
- ・平尾 有理奈さん（平成27年度本科卒業 楽天ソシオビジネス株式会社勤務）
- ・萩本 益巳さん（アイシンウェルスマイル株式会社勤務）

### 体験談 I 田中 真悟さん

年齢：22歳 高等部卒業後、アイシン精機株式会社（現：株式会社アイシン）入社、小川工場勤務（5年目）。製造ラインの仕事に任されている。趣味は旅行、グルメ、野球観戦など。



### <高校生活と進路について>

部活は野球部だった。チームワークが大切なので、部員とのコミュニケーションを大切にしていた。また生徒会長として高等部みんなの声を聞いて、それに応えようと努力していた。進路については高等部入学時は人のためになる仕事がしたいと思い、大学に行こうと考える時期もあったが、最終的にアイシンで頑張ってみようと思い、就職に切り替えた。

### <仕事以外の活動について>

休日に野球（名城フェニックス所属）とソフトボール（菱パワーズ（部長））を楽しんでいる。また愛知聴覚障害者協会の役員として、聴覚障害者の助けになる仕事をしている。

#### <後輩へのアドバイス>

- ① **自分は、仕事や一人暮らしで困ったことはほとんどない。**  
→困るだろうなと思うことをあらかじめ予想して、**前もって対応してきたので。**
- ② **自分の性格を明確に表せるようにすることが大事。**  
→**将来の夢や、自分の進路を考える元になるのが、自分の性格だ**と思うので。

### 体験談Ⅱ 平尾 有理奈さん

年齢：24歳 高等部卒業後、四国学院大学に進学、楽天ソシオビジネス（株）勤務。入社2年目。休日は映画やドラマ鑑賞をしたり、たまに友人とご飯を食べたり、買い物や旅行をしたりしている。

### <高校生活と大学生活について>

高2のとき普通校から編入した。はじめは手話もわからず、今までと全く違う環境にとまどったが、バレー部に入って活動したりする中で今でも仲の良い先輩や後輩に出会えて、編入してきてよかったと思える高校生活だった。進路は高2までぼんやりと進学かなと考えていたが、高3の春に進学希望先を四国学院大学に決定し、猛スピードで受験勉強と準備を始め、無事に特別推薦で合格できた。大学では、元々韓国の文化や言語に興味があったので、3回生のときに韓国の韓南大学に1年間交換留学し、様々な経験を積むことができた。

### <今の仕事について>

今の会社は楽天グループの特例子会社で、グループ各社からのアウトソーシング業務（行事等の運営代行、社員のデータ処理など）だけでなく、店舗運営やアスリートのサポートなど、幅広い業務を行っている。私の所属している大阪支社では健聴者が多く、コミュニケーションを丁寧にとっている。



#### <後輩へのアドバイス>

- ① **基本的なマナー**を身につける。→(敬語、上下関係の尊重など)
- ② **行動力・忍耐力**を身につける。→(高校生活の間に、しっかりと！)
- ③ **悔いのない学生生活**を過ごす。→(色々な経験は、将来の役に立つ)



## 講演 萩本 益巳さん

大学卒業後、愛知県内の養護学校で障害児教育に携わり、また介護現場での実務を経験される。その後産業カウンセラーの資格を取得してアイシン精機に入社、現在はアイシンウェルスマイル株式会社でアイシングループ全体の障害雇用の支援に携わり、本校卒業生も公私に渡り、大変お世話になっている。



### <会社について>

アイシンはトヨタ自動車の中核会社で、自動車部品のメーカーとして世界第六位の売り上げを誇っている。愛知県内に19工場を持ち、連結会社は208社、従業員は37664名に上る。アイシンウェルスマイルはグループ全体の障害者の採用・教育・定着が主要な業務。学生のインターンシップ受け入れから社内での教育やインフラ整備、職業生活相談まで幅広くサポートしている。

### <社会人として必要なこと>

仕事面では、安全、言葉遣い、義務の遂行、コミュニケーション、メモを取るなど、などが重要です。また日常生活では、お金の管理、時間の管理、友達を大切に、思いやりの心を持つこと、などが重要です。仕事は当然大事ですが、親友や家族も同じように大切に、健康・安全に生活していくことが社会人にとって重要です。ご家庭にお願いしたいことは、①自分の身の回りのことは自分でやらせるようにする、②基本的な学力を身につけておく、③進路についてはご家庭でも話し合う時間を設ける、④規則正しい生活習慣を身につける、などです。また学校生活では、約束を守る、敬語をおぼえる、言い訳をしないなど、明るく元気で素直な、愛される人になるよう心掛けてほしいと思います。

### <働くために必要な6つの力>

- ① **人としての基本の力**(誠実さ、思いやりの心、責任感、礼儀やマナー)
- ② **コミュニケーション力**(自分から周りに溶け込む、意思の疎通、共有ができる)
- ③ **健康・体力**(自分の健康管理、仕事を休まない)
- ④ **生活力**(身の回りのことが自分でできる、将来を見通した金銭管理ができる)
- ⑤ **基礎学力**(生活の上で必要な文章力、計算力)
- ⑥ **忍耐力**(つらいことでも耐えて乗り越える力)

## 生徒の感想より(抜粋)

○先輩の体験を聞いて、学生でしかできないことをやって勉強や部活に励んで、悔いのない高校生活にしていきたい、と思いました。

- 進学する前に、何を勉強すべきかを知ることができて、よかった。
- 萩本さんのお話が、仕事に必要な内容が多く、この先大事だなと思って聞いていた。先輩2人のお話も素敵で、また先輩に色々聞きたいと思いました。
- 困りそうと思うことに、前もって対処してきたから、困っていることはない、という言葉が印象に残った。また、悔いのない学校生活を、という言葉は、今のままの学校生活でいいのかどうか、考えるきっかけになりました。
- 先輩や会社の人から色々な話を聞いて、やっぱり学校を休まないことだと思いました。きちんと自立できるようにするためにも、苦手なこともこれから少しずつやってみたいと思いました。
- 先輩方は自分でコミュニケーションをとっていたので、私も積極的に行動して、将来の目標に向けてがんばろうと思いました。
- 何事もネガティブに考えずに、自分にもっと自信を持てるようになりたい。聞こえる人とのコミュニケーションも今から積極的にしていきたいと思った。

## 保護者の感想より・・・（抜粋）

- ・障害があっても、海外に留学されたりして、素晴らしいと思いました。
- ・卒業生の方々が、一人暮らしや、仕事をする上で、困りそうに思うことにも上手く対応されていて、安心しました。
- ・卒業生2人のお話は就職が近い年齢の子供たちにとって、わかりやすい話だったと思います。
- ・子供たちから見て、知らない人ではないので、聞いている方も実感がわいたと思います。
- ・先輩方のお話は大変貴重で、誰よりも説得力があり、子どもたちにしっかり伝わったと思います。
- ・アイシンでは、従業員を定年までしっかりサポートする制度があり、とても良いと思った。
- ・企業が求める人材を教えて頂いて、子育てする中で意識していきたいと思いました。

今年も「卒業生の体験談を聞く会」に来てくれた卒業生たちの生き生きとした姿に感動しました。また企業の人事担当の方の具体的なお話も、大変参考になりました。在校生の皆さんも今回の先輩方のアドバイスを胸に刻み、就職や進学に向けて日々の学校生活を充実させてほしいと思います。